

平成28年度第3回海外姉妹都市検討市民会議作業部会（平成28年9月29日開催）

海外姉妹都市候補地検討リストに基づき、候補地の絞り込みを行い、第1回目の作業部会で候補地としたアメリカ合衆国カリフォルニア州フォスターシティ市に加え、イギリスウェールズスウォンジー市と、オーストラリアクイーンズランド州ケアンズ市を候補地として選定した。

1. 海外姉妹都市の候補地の絞り込みについて

海外姉妹都市候補地検討リストに基づき、20の都市から一都市ずつ候補地とすることの是非について意見交換及び挙手等による決定を行い、最終的に2都市を候補地として選定した。

（20の都市について）

- (1)平成27年度の市民会議の議論の中で挙げられ、継続審議されている都市（5都市）
- (2)作業部会のアンケート調査により、ICカレッジの方から提案された都市（2都市）
- (3)作業部会の委員から提案された都市（13都市）

(絞り込みの基準について)

・平成27年度、4回の市民会議の中で多く寄せられた意見を、選考の基準として絞り込みを行った。

【主な基準】

- ①青少年健全育成ができるところ
- ②教育交流ができるところ
- ③スポーツ交流ができるところ
- ④文化交流ができるところ
- ⑤過去の交流実績やきっかけがあるところ
- ⑥英語圏であるところ
- ⑦都市の規模が稲城市と似ているところ
- ⑧距離が近いところ
- ⑨治安が良いところ

※これら基準を総合的に判断して、候補地としての是非を検討した。

(主な意見)

- ・「稲城市との姉妹都市提携の意思」は未だに不明の状態が続いているので、相手方の在日の在外公館や、現地の協会などにコンタクトを取り、姉妹都市の可能性を確認していく必要がある。
- ・これ以上、このリストから増えることはない。
- ・姉妹都市は、規模が似ているとか、同じ観光資源、同じ歴史を持つとか、そういう何か共通項がないといけない。

- ・タイとモンゴルとユージン市(アメリカ合衆国)の3都市については、教育委員会が主体で実施ということだが、この6年間で交流実績は一切なく、個人的な繋がりだったと聞いている。
- ・バーリントン市(アメリカ合衆国)は個人的なお付き合いが継続しているが、姉妹都市関係という形にするのが良いということではない。
- ・バーリントン市やユージン市については、どちらも、現状では、特に継続していく必要はないのではないかと思う。
- ・稲城県(中華人民共和国)とは交流をしたいと思っているが、現時点では、特に姉妹都市の候補地に挙げる必要はない。
- ・青島市(中華人民共和国)は非常に大きい都市なので、稲城市とのバランスが随分違うため、候補地としては挙げられないと思う。
- ・香港(中華人民共和国)は規模が大き過ぎるという事を考えて、候補地としない。
- ・スウォンジー市(イギリス)については、反対する理由はない。
- ・センテンドレ市(ハンガリー)は、英語圏でないということと、距離が遠いということで候補地としない。
- ・ガリア郡(アメリカ合衆国)は遠いので候補地としない。
- ・ケアンズ市(オーストラリア)は、日本との時差が殆どないので、色々と交流をやるには便利。
- ・ケアンズ市は、栃木県小山市との姉妹都市関係が非常に強く、毎年交流をやっていて、何十人の学生が行ったりきたりしているため、これに加えて稲城が入るとするのは少し難しい可能性がある。
- ・ホノルル市ワヒアワ地区(アメリカ合衆国)は、人口が少ないので、規模的にどのくらいの交流ができるのかということがあり候補地としない。

- ・フィリピンやベトナムの都市は、外務省の危険情報がレベル1のため候補地としない。
- ・市民レベルの目線からすると外務省の危険情報でレベル1と出されてしまっている以上は、選択肢としては外した方が良いのではないか。
- ・市民はいわゆる国際交流に精通した方々ばかりではないわけなので、その方々を含めてどのくらい説得力のある説明ができるかということが重要。
- ・先進国だけが日本の経済活動やその他の分野での関わりの全てではないので、両輪として、先進国と共に、後進国とも交流をやって行くというのがやはり必要になってくると思う。
- ・トルコは、シリアやイラクとの国境地帯に治安の問題があり、候補地としない。

2. 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて、事務局より説明をした。

(事務局の説明)

- ・第1回目の市民会議において、現地視察を行った結果を踏まえて検討する事が決定されているため、平成29年度予算に事業費を計上する事を考慮すると、年明け1月上旬には現地視察を行う必要がある。
- ・現地との調整、航空チケットの手配等を考えると、10月後半から11月初旬には市民会議を開催する必要がある。

3. 今後の検討について

第4回の作業部会で、絞り込まれた3都市について、具体的な交流事業を検討する。

また、候補地のうち、「稲城市との姉妹都市提携の意思」が分からない部分などについては、提案者が大使館やキーパーソンを通じて情報収集を行い、情報の補完をしていくこととなった。